

( 圖中右上の文字 )

「八犬伝之内芳流閣」

犬塚信乃は父の遺言にまかせ村雨の太刀を下総なる許我

の成氏公へ献る其太刀にせもの成りしかは龐忽の罪をせのて

横堀在村信乃をからめ取んとす信乃は八九人の雑兵をて広

庭に出三層の楼にのぼる是を芳流閣と云捕手の数人鎗

を突揚て断れ深手を負てまろひ落るを見て獄吏

を固辞て強て身の暇を乞し咎によりて禁獄せられし犬飼現八

信道主君の命を伝へて在村縛ときゆるす現八は捕物拳法無双

の力士太刀身甲に鎧ひ十手をとつて芳流閣の箱掠「棟」を血刀引

提て立たる信乃を目かけて討てかゝる十手の早業信乃は劍法

の手心「練」両勇か働きは竜虎死奮を顕して雲岡に争ふに相似たり